

公共交通の利用促進について 待合環境改善事業「バス待ち処」

資料2

バス待ち処

- ◆ 椅子あり
- ◆ 時刻表あり
- ◆ トイレあり



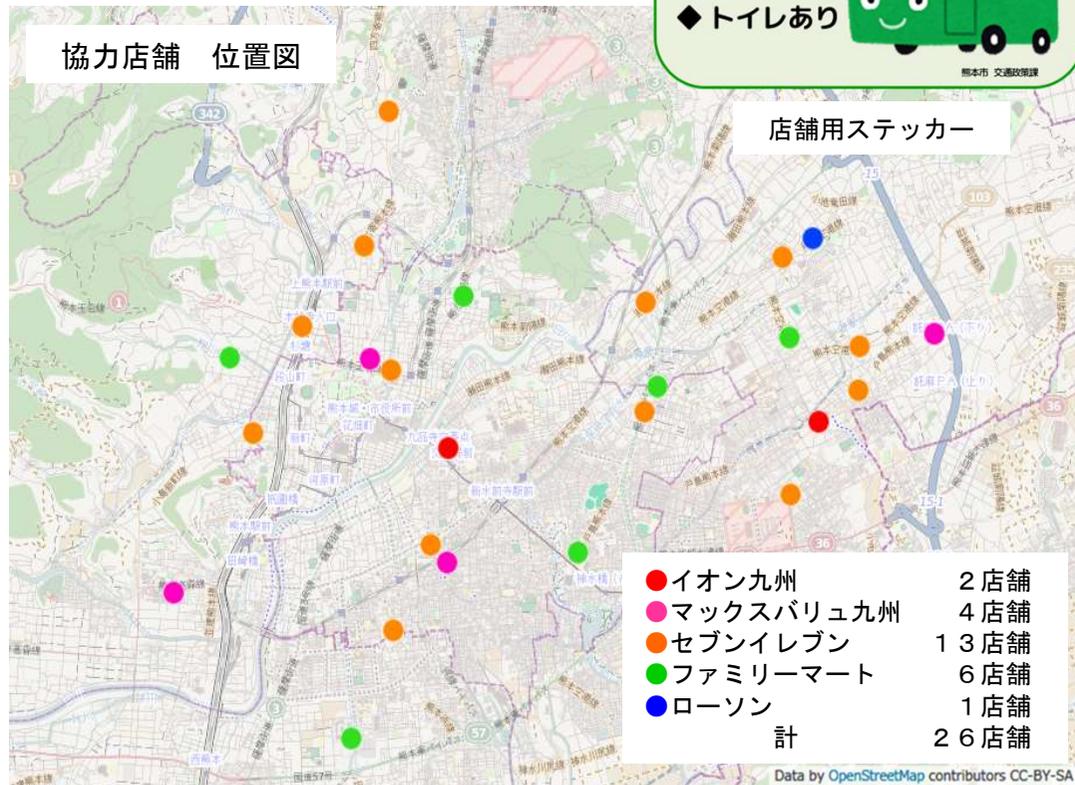
熊本市 交通政策課

○「バス待ち処」とは

市内のバス停と近接するスーパーマーケット、コンビニエンスストアと連携し、イートインスペースの活用や時刻表の掲示等により、バスを快適に待つための環境整備を行うもの。

平成30年10月1日から事業を開始し、現在26店舗がバス待ち処として指定されている。

バス停名	バス停管理会社	施設名
イオン九州		
1 大江四丁目	産交バス/熊本都市バス	イオン熊本中央店
2 西小峯	熊本都市バス	ワイドマートデアンドエフ月出店
マックスバリュ九州		
3 戸島5丁目	産交バス/熊本都市バス	マックスバリュ新戸島店
4 磐根橋	熊本都市バス	マックスバリュ内坪井店
5 食糧事務所前	熊本都市バス	マックスバリュくらし館国府店
6 田崎市場前	産交バス	マックスバリュ田崎店
セブンイレブン		
7 保田窪本町	産交バス	帯山4丁目店
8 東八反田	産交バス	御領2丁目店
9 清水台団地入口	産交バス	テレビ熊本前店
10 壺井橋	熊本電鉄バス	坪井一丁目店
11 筒口	産交バス/熊本都市バス	横手1丁目店
12 長嶺小学校入口	産交バス/熊本都市バス	長嶺南6丁目店
13 新南部	産交バス	新南部店
14 九品寺6丁目	熊本バス	九品寺6丁目店
15 長嶺小学校前	産交バス/熊本都市バス	長嶺小前店
16 本妙寺下	産交バス/熊本都市バス	花園1丁目店
17 ガス会社前	熊本バス/熊本都市バス	萩原店
18 山の神	熊本都市バス	山ノ神店
19 岩立小路	産交バス/熊本都市バス	池田1丁目店
ファミリーマート		
20 長嶺四つ角	産交バス/熊本都市バス	長嶺南3丁目店
21 保田窪三丁目	産交バス/熊本都市バス	保田窪3丁目店
22 濟々巒前	熊本電鉄バス	濟々巒前店
23 慈恵病院前	熊本都市バス	島崎4丁目店
24 砂取校前	熊本都市バス	水前寺公園店
25 流通団地	熊本バス/熊本都市バス	流通団地組合売店
ローソン		
26 御領	産交バス	熊本御領五丁目店



○今後について

4月に導入を予定しているバスロケーションシステムにより、スマートフォン等でバスの運行情報等が確認が可能となる

→ **更なる拡大を検討**



公共交通の利用促進について 路線別利用促進事業 各社での取組

○事業概要

バス事業者別に選定した特定路線の沿線地域において、停留所別のバスの時刻表やバスの乗り方などについて、きめ細やかな情報提供をし、利用促進をはかる。

○対象路線



九州産交バス

1. 実施状況

- (1) 路線及び停留所
川尻バイパス経由センター松橋線 ①熊本農業高校前 ②元三町 ③大慈禅寺
- (2) 路線選定理由
年々輸送人員が減少しており、一部ではJRと競合しているが、今回の対象停留所はJR最寄駅から比較的離れており、一定の利用促進効果が見込めると判断したため。
- (3) 配布物
・折り畳み式時刻表
・利用促進チラシ（共通） 各2,290部
- (4) 配布方法
いきいきサロンなどの、地元活動団体の会合にてアンケートを用いてヒアリングを行い、地域の方のバスに対する意見を聴取した。その後、自治会を通じて各戸に配布。
〔ヒアリング実施状況〕
9月3日（月）川尻14町内 いきいき百歳体操
9月5日（水）川尻10町内 いきいき百歳体操
9月7日（金）城南2町内 いきいきサロン

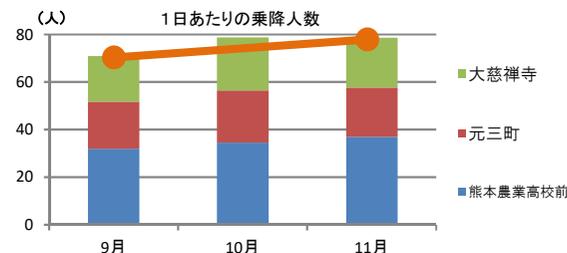


ヒアリング状況

※その他の自治会については、自治会長に個別でヒアリングを実施

2. 効果測定

対象停留所及び対象路線における輸送人員の検証
対象バス停におけるくまモンのICカードの乗降データを確認。



事業実施後のヒアリングでの主な意見

- ・バスが時刻表どおりに来ない
- ・川尻市道経由とバイパス経由両方の時刻表が載せてあり、便利だった
- ・時刻表の文字をもう少し大きくしてほしい

<バス事業者の考察>

- 時刻表の配布を開始した10月以降、対象バス停の乗降人数が配布前と比較して増加しており、一定の効果を確認することができた。
- バスに関する様々な情報を掲載した時刻表を配布したが、時刻表以外については情報がうまく伝わっていなかったため、配布物の内容については検討の余地がある。

公共交通の利用促進について 路線別利用促進事業 各社での取組

産交バス

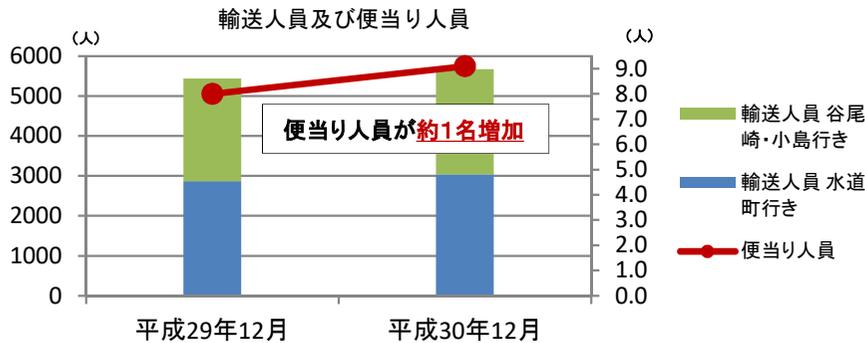
1. 実施状況

- 路線及び停留所
谷尾崎線 ①戸坂 ②谷尾崎入口 ③谷尾崎団地前 ④谷尾崎
- 路線選定理由
利用者が多い路線であり、高齢者をターゲットに、バスに関する基本情報を提供し、バス利用の不安を解消することを目的として選定。
- 配布物
・折り畳み式時刻表
・利用促進チラシ（共通） 各560部
- 配布方法
自治会を通じて配布（平成30年12月配布）
池上校区第1町内自治会（戸坂地区） 60部
池上校区第2町内自治会（谷尾崎地区） 500部
10月21日（日）、11月29日（木） 役員会出席

2. 効果測定

対象路線の輸送人員及び便当たり人員を前年同月と比較。

	輸送人員(人)		運行回数
	平成29年12月	平成30年12月	
水道町行き	2,868	3,035	348
	谷尾崎・小島行き	2,566	320
谷尾崎・小島行き	2,566	2,630	330
	2,630	303	



※2月開催の役員会に出席し、実施後のヒアリングを行う予定。

<バス事業者の考察>

- 対象路線の輸送人員について、前年同月と比較したところ、便あたり1名の増加が見られた。2月実施予定のヒアリング結果も参考に、今後の取組について検討していきたい。

熊本電鉄バス

1. 実施状況

- 路線及び停留所
清水ヶ丘線 ①清水ヶ丘 ②北津留 ③立田山
- 路線選定理由
現状における利用率が多い路線のため。
- 配布物
・通過時刻表（平・土・日祝）
・利用促進チラシ
・利用促進チラシ（共通）
・ご利用ガイドマップ
・アンケート } 各3,000部
- 配布方法
職員によるポスティング

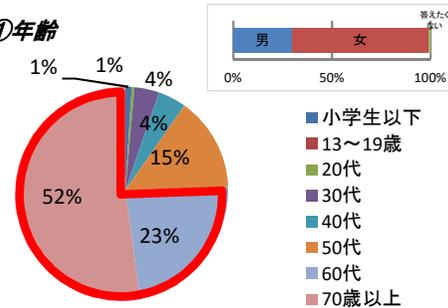


ポスティング状況

2. 効果測定

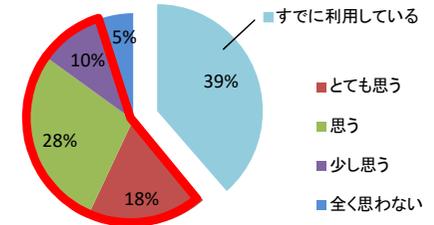
(1) アンケート結果の分析

①年齢



→ 回答者の約7割が60代以上

②今後バスを利用してみようと思うか



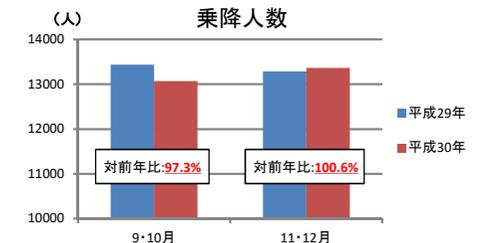
→ 現在バスを利用していない人の内、9割以上が利用意向を示している

③路線バスについての要望（主な意見のみ抽出）

- バスの遅れについて
- 運転手の接遇について
- バスロケーションシステムの導入
- 低床バスの導入
- バスの運行本数について
- 良い意見（感謝など）

(2) 輸送人員の変化について

対象3停留所の乗降人数について、対前年比を比較したところ、時刻表配布前の2ヶ月間（9・10月）では97.3%だったのに対し、配布後の2ヶ月間（11・12月）では100.6%となり、輸送人員が減少傾向から増加に転じている。



<バス事業者の考察>

- 上記のように、時刻表配布の効果が見られた。また、チラシの内容（深夜バス等）に関して「今回、初めて知った」との意見もあり、周知に繋がったと思われる。

公共交通の利用促進について 路線別利用促進事業 各社での取組

熊本バス

1. 実施状況

- (1) 路線及び停留所
田迎線 ①萩原 ②出仲間 ③良町
- (2) 路線選定理由
住宅が多く、運行本数も多いため、新規利用に繋げやすいと判断した。

- (3) 配布物
- ・折り畳み式時刻表 3,000部
 - ・利用促進チラシ（共通） 3,000部
 - ・アンケート 300部

- (4) 配布方法
職員によるポスティング



ポスティング状況

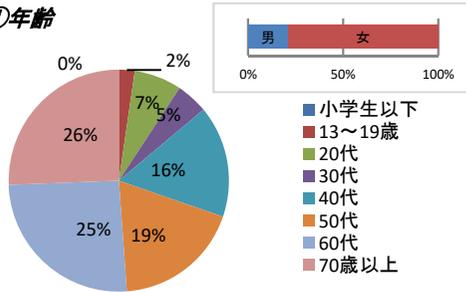


配布物の封入状況

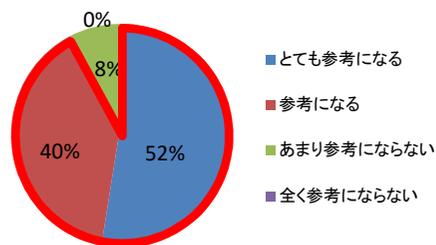
2. 効果測定

- (1) アンケート結果の分析

①年齢



②今回配布した資料は参考になったか



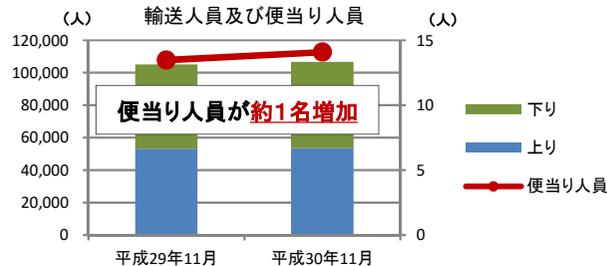
→ 9割以上が今回配布した資料を「参考になる」と回答しており、バス利用のきっかけになったことが期待できる。

③自由意見（主な意見のみ抽出）

- ・バスの遅れについて
- ・路線の運行経路について
- ・運転手の接遇について
- ・バスの運賃について
- ・バスロケーションシステムの導入
- ・良い意見（感謝など）

- (2) 輸送人員の変化について

- 前年同月と比較し、対象の3停留所を通過する系統の1便当りの輸送人員が、約1名増加している。



＜バス事業者の考察＞

- 上記のように、時刻表配布の効果が見られた。
- アンケートでは、9割以上が「今後バスを利用してみたいと思う」と回答しており、バスに対する意識の変化があったと考えられる。

熊本都市バス

1. 実施状況

- (1) 路線及び停留所
渡鹿長嶺線 ①長嶺小学校前 ②保田窪三丁目 ③保田窪四ツ角
- (2) 路線選定理由
今後の利用者の伸びが期待でき、力を入れたい路線のため。

- (3) 配布物
- ・折り畳み式時刻表
 - ・案内文 各3,000部
 - ・利用促進チラシ（共通）

- (4) 配布方法
委託業者によるポスティング



配布物一式

2. 効果測定

ポスティング前後での利用人数を比較した。

①実施要領

平成30年11月15・16日両日で3停留所近辺に時刻表のポスティングを実施。

②利用人数の比較結果

今回対象の3停留所とその他停留所で利用人数を比較。

i) その他停留所合計の平均値を比較

前半			後半			増加人数		
平日	土曜	日祝	平日	土曜	日祝	平日	土曜	日祝
1,434	954	648	1,494	957	680	60	3	32
						104.2%	100.3%	104.9%

← 自然増加率

ii) 3停留所の平均値を比較

前半			後半			増加人数		
平日	土曜	日祝	平日	土曜	日祝	平日	土曜	日祝
372	223	146	387	260	167	15	37	21
						104.0%	116.4%	114.1%

ポスティングによる増加人数

平日	土曜	日祝
1	36	14

※自然増加率を加味して算出

③費用面での分析

i) 利用促進にかかった費用

内容	単価	数量	金額
時刻表版下作成	100,000	3	300,000
時刻表印刷	13	3,000	39,600
ポスティング作業	15.5	3,000	46,500
封筒	6.1	3,000	18,300
案内文印刷	2.35	3,000	7,050
合計			411,450

ii) 得られた効果（試算）

対象路線の路線支払単価：200円
平均増加人数×路線支払単価
・平日… = 0円
・土曜…36人×200円×4.33日=31,176円
・日祝…14人×200円×5.83日=16,324円
→ 合計 47,500円/月
411,450/47,500=8.66≒9ヶ月
よって、費用合計に対して

約9ヶ月程度で回収できる見込み。

＜バス事業者の考察＞

- 今回のポスティングにより一定の利用者増加が確認できた。今後、他の路線でも定期的実施することで、利用者増加の一助となると考えられる。

公共交通の利用促進について 路線別利用促進事業

路線別利用促進事業 全体総括

	時刻表配布	アンケート	地域への取り組み	利用者数	利用者の意識の変化
九州産交バス	○	○	時刻表配布前後に、地域活動団体にてヒアリングを実施	対象停留所の乗降人数の合計が 若干増加	配布後のヒアリングより、 バスの利用意向 を示した
産交バス	○	—	自治会の会合にてバスの状況や配布物について説明	対象路線の便当り輸送人員が 増加	—
熊本電鉄バス	○	○	—	対象停留所の乗降人数の対前年比が、減少傾向から 増加 へ	現在バスを利用していない人の内、 9割以上が利用意向 を示した
熊本バス	○	○	—	対象路線の便当り輸送人員が 増加	9割以上 の方が バスの利用意向 を示した
熊本都市バス	○	—	—	対象停留所の平均利用者人数が平日は変化がなかったものの 土・日祝では増加	—

- 各バス事業者ともそれぞれ取組内容に特徴や工夫があり、増加幅の違いはあるが、いずれも利用促進事業の効果が見られた。
- 時刻表やバスに関する情報等を提供することで、バスを利用するきっかけやバス利用に対する意識の変化につながったと思われる。
- バス路線周辺の地域状況や地域住民のバスに対する意識等によって、実施方法（配布物の内容やアンケートの実施等）を検討することで、より効果的に利用促進を図ることができる。
- バス利用者の減少が続いているなか、利用促進事業に取り組んだ路線については利用者が増加しており、今後もこのような取組を続けることで更なる効果が期待できる。

公共交通の利用促進について 現在の取組と他都市の取組事例

前回の部会でいただいた主な意見

- ・ 大人向け出前講座
- ・ 1日乗車券について
- ・ 商業施設との連携
- ・ ラッピング車両の運行
- ・ バスロケの使い方講習会
- ・ 横をつなぐバス路線の運行
- ・ 熊本駅でのバス路線図の設置
- 等

情報提供

①大人向けの出前講座 + バスロケの使い方講習会

<これまでの取組>

- ・ 小学生向け出前講座(平成30年度実績:5校、376名)
- ・ 高齢者向け出前講座(平成30年度実績:3団体、48名)
- ・ 産太くんの乗り方教室(保育園・幼稚園対象)(産交バス)

<他都市での事例>

- ・ 愛媛県東温市: 幼児とその保護者を対象に「路線バス親子体験教室」を実施。



②熊本駅でのバス路線図設置

<これまでの取組>

- ・ バスガイドマップの作成、配布

<他都市での事例>

- ・ 青森県八戸市: 主要駅構内に、周辺のJR・バスの路線図を設置。

現在の取組の見直し、拡大

- ①出前講座の対象拡大、講座内容の見直し(バスロケ講習会を同時に実施)
- ②熊本駅でのバス案内策の検討

サービス向上

①商業施設との連携

<これまでの取組>

- ・ くまモンのICカードでキャンペーン実施
- 100ポイントプレゼント、ポイント2倍(加盟店…約300店舗)
- ・ 交通券の発行(下通繁栄会)

<他都市での事例>

- ・ 沖縄県那覇市: バス・モノレールでの来店者に各商業施設で独自の特典・サービスを提供。



引用:くまモンのICカード公式ホームページより

②横をつなぐ路線の運行

<これまでの取組>

- ・ 第一環状線 ・ 八王寺環状線 ・ 東バがスライク ・ ゆうゆうバス 等

<他都市での事例>

- ・ 合志市: レターバス、市内循環バス

現在の取組の見直し、広報の検討

- ①くまモンIC加盟店拡大に向けた広報の検討
- ②バス路線網再編と併せ、地域のニーズや利用状況等を考慮し、検討

魅力向上

①ラッピング車両

<これまでの取組>

- ・ くまモンラッピング電車(熊本電鉄)
- ・ 車内装飾バス(産交バス)

<他都市での事例>

- ・ 福岡県大牟田市: ジャー坊(公式キャラクター)バス運行



引用:佐賀市営バスブログより

②1日乗車券

<これまでの取組>

- ・ 観光施設での利用割引制度
- ・ ひごまるくん×くまモンデザイン

<他都市での事例>

- ・ 福島県: 「バス・鉄道利用促進デー」限定の1日乗車券を発行



③スタンプラリー(シールラリー)

<これまでの取組>

- ・ くまモンのラッピング電車わくわくスタンプラリー(熊本電鉄)

<他都市での事例>

- ・ 福岡県北九州市: ハローキティスタンプラリーを開催。バスでチェックポイントをめぐり、スタンプを集めてコラボグッズをプレゼント。ハローキティラッピングバス、1日乗車券もコラボ。

現在の取組の見直し、新規取組の検討

- ①熊本に所縁のあるキャラクターとのコラボや企業とのタイアップ等の検討
- ②利用実態に合わせた1日乗車券の制度の見直し
- ③利用促進キャンペーン

来年度以降の取組について

- ・ バスロケーションシステムの導入
 - ・ バスの行先案内記号の改善
 - ・ これまでの取組の見直し、拡大、新規取組の検討
- } 利用者への周知、広報活動